

事業報告書

1 支援団体名	特定非営利活動法人 タウン・コンパス
2 事業名称	能古島における漁業と農業の連携による魅力づくり
3 支援金額	¥200,000円
4 実施日時	平成21年9月19～20日（竹林伐採・チップ化、湧水の清掃） 平成21年12月21日（シナアブラギリの植林） 平成22年2月24日（カキ棚製作）
5 実施場所	福岡市西区能古島
6 事業目的、内容及びその効果	<p>（事業実施状況・内容）</p> <p>能古島において、放置竹林や雑草等で荒れている耕作放棄地や里山を整備して植林したり、伐採竹を利用して養殖用のカキ棚づくりを支援した。</p> <p>竹林伐採は溜池堤防周辺、果樹園近隣の耕作放棄地、及び地域の神事に利用される五厘水（湧水）周辺で行った。前記二箇所では5月に白い花が咲くシナアブラギリを植林し、湧水箇所ではゴミの流入防止のため伐採した竹を周りに竹を配置した。また、伐採竹を利用した作られるカキ棚製作を体験した。</p>
	<p>（事業実施効果）</p> <p>能古島に広範囲に大量に放置されている竹林を整備すると共に、伐採竹を活用することで地域の環境とコミュニティが良くなるきっかけができた。今後漁業者、竹林所有者、農業関係者、及び市民ボランティアの協働により、能古島の竹林整備と竹の有効活用、島の活性化に向けての継続的な活動が推進できる仕組みができた。</p>
7 参加内訳	総人数 12名
	（1）主催者参加 4名
	（2）日本人参加（（1）を除く） 8名
	（3）外国人参加（（1）を除く） 名
8 今後の方針	能古島支援チームをつくり、住民の方々と共に放置竹林を伐採すると共に、伐採竹の活用方法・島の魅力を議論していく。その中で新しい能古島の魅力を創り、能古島を訪れる人々や市民にイベントや情報ツールを通してその良さを発信する。



伐採前（早田池周辺）2009/09/20



伐採後（早田池周辺）2009/09/20



シナアブラギリ植林（早田池周辺竹林伐採跡地）
2009/12/22



シナアブラギリ植林（耕作放棄地）2009/12/22



伐採竹によるカキ柵製作（全体で約70本）2010/02/24



伐採竹によるカキ柵製作（拡大）2010/02/24